

編集後記

ローマ法雑誌創刊号をお届けします。

投稿者、査読者の協力を得て、何とか、査読付き論文2本と彙報7本を掲載し刊行に至りました。

創刊号では、古代法に関する投稿が目立ちましたが、書評にもある通り、「現代ローマ法」も本誌のカバーすべき対象です。ギリシア法や中世以降の「ローマ法」に関する論考も、次号以降に掲載が見込まれます。

また、外国語による投稿・論文も受理し査読・審査に回します。原則として、SIHDA 公用語たる仏独伊西英の5か国語を想定し、事前にネイティブチェックを受けて頂くようお願いしておりますが、お近くに適任者を得ない場合には、事務局までご相談下さい。

本誌が、本邦ローマ法学界のフォーラムとして、永く、多様な寄稿と交流の場となれば幸いです。

(佐々木健)